

Racing Topics

★中央競馬ニュース 文・谷川善久★

●マイルチャンピオンシップはペルシアンナイトが優勝

11月19日(日)に行われたマイルチャンピオンシップ(G I)ではペルシアンナイト(牡3歳／栗東・池江泰寿厩舎)が優勝、G I初制覇を果たしました。同レースを3歳馬が制したのは2000年のアグネスデジタル以来17年ぶり、史上4頭のこと。また同馬の鞍上ミルコ・デムーロ騎手(栗東・フリー)は今年のJRA・G I 6勝目で、これは年間最多タイ記録となります。

●牧田和弥調教師がJRA通算100勝を達成

11月19日(日)の5回京都6日・第10レースの衣笠特別ではアンドリエッテが1着となり、同馬を管理する牧田和弥調教師(栗東)は、現役154人目となるJRA通算100勝(1678戦目)を達成しました。

●植野貴也騎手がJRA障害通算1000回騎乗を達成

11月19日(日)の3回福島6日・第5レースでシゲルロウニンアジに騎乗した植野貴也騎手(栗東・佐藤正雄厩舎)は、この騎乗で史上13人目、現役では8人目となるJRA障害通算1000回騎乗を達成しました。

●ディープインパクト産駒が史上最速でJRA通算1500勝を達成

11月19日(日)の5回京都6日・第5レースではフランツが1着となり、ディープインパクト産駒のJRA通算勝利数が1500勝となりました。JRA史上6頭目の記録で、産駒初出走の日から数えて7年5か月0日の1500勝達成は、キングカメハメハ産駒の8年6か月26日を上回る史上最速記録となります。

●ディーマジェスティの競走馬登録抹消

2016年皐月賞(G I)などの勝ち馬ディーマジェスティ(牡4歳／美浦・二ノ宮敬宇厩舎)は、11月21日(火)付で競走馬登録を抹消されました。JRA通算成績は11戦4勝で、今後は北海道新ひだか町のアロースタッドで種牡馬となる予定です。

★地方競馬ニュース 文・宇田川淳★

●浦和記念(浦和)はマイネルバサラの圧勝、重賞初制覇

浦和記念(Jpn II、11月23日、浦和、2000m)は、4番手から3コーナー手前で先頭に立った5番人気のマイネルバサラ(柴田大知騎手、牡4歳、父シニスターーミニスター)が、2番人気のヒガシウィルワイン(船橋)を6馬身引き離して圧勝。中団からの競馬となった1番人気のオールブラッシュは更に6馬身遅れの3着、ナムラアランは4着、クリノスターオーは5着でした。

●ハヤブサマカオーが兵庫ジュニアグランプリ(園田)を逃げ切る

兵庫ジュニアグランプリ(Jpn II、2歳、11月21日、園田、1400m)は、先手を取ったハヤブサマカオー(クリストフ・ルメール騎手、牡、父シニスターーミニスター)が3番人気のアスターードをクビ差振り切り、単勝1.1倍の圧倒的支持に応えてデビュー以来の連勝を3に伸ばしました。タガノアムは6着、クラウンエンジニアは8着、レナータは9着に敗れています。

●ダービーグランプリ(水沢)は北海道のスーパーステーションが優勝

ダービーグランプリ(11月19日、水沢、2000m)は、3番手を進んだ1番人気の北海道からの遠征馬スーパーステーション(牡、父カネヒキリ)が3、4コーナー中間で抜け出して優勝しました。

●ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド浦和の結果

ヤングジョッキーズシリーズトライアルラウンド浦和は11月22日に実施され、第1戦は保園翔也騎手(浦和)、第2戦は赤津和希騎手(浦和)が制しました。これでトライアルラウンドは全て終了し、JRA所属では藤田菜七子騎手、菊沢一樹騎手、木幡育也騎手(以上美浦)、森裕太朗騎手、岩崎翼騎手、小崎綾也騎手、荻野極騎手(以上栗東)がファイナルラウンド進出を決めています。

★海外競馬ニュース 文・秋山響★

●カルティエ賞が発表～欧洲年度代表馬にエネイブル

欧洲競馬の年度表彰制度であるカルティエ賞が11月14日に発表され、英オークス、愛オークス、キングジョージVI世&クイーンエリザベスS、ヨークシャーオークス、そして凱旋門賞とG 1・5連勝でシーズンを終えた英国のエネイブル(牝3歳、父ナサニエル、J.ゴスデン厩舎)が欧洲年度代表馬に輝きました。同馬は最優秀3歳牝馬もあわせて受賞しています。3歳牡馬はエネイブルと同じゴスデン厩舎に所属し、G 1英チャンピオンSを制したクラックスマン。古馬はG 1エクリプスSとG 1英インターナショナルSに優勝した英国のユリシーズ(牡4歳)。スプリンターはG 1ジュライCとG 1スプリントCを勝った英国のハリーエンジェル(牡3歳)。ステイヤーはG 1愛セントレジャーに優勝した愛国馬のオーダーオブセントジョージ(牡5歳)。2歳牡馬はG 1ミドルパークSとG 1デューハーストSを制した愛国馬のユースネイビーフラッグ。2歳牝馬はG 1モイグレアスタッドSと牡馬相手のG 1ジャンリュックラガルデール賞を勝った愛国馬のハッピリー。カルティエ賞は、欧洲重賞の着順によるポイント(30%)、競馬記者投票(35%)、レーシングポスト紙とデイリーテレグラフ紙の読者および英ITVレーシングの視聴者投票(35%)の合計で決定されます。